

ブラジル・西アマゾンにおける アグロフォレストリーカカオの付加価値向上 および気候変動適応能力向上事業

つづける助成
2年目
実践

販売した 発酵済高品質カカオ	1,080kg
気候変動適応: 農業技術研修参加者	118人
今年度計画の達成度	90%
目標達成度	85%



小長野氏の話で、農業観が変わる農家も多い

苦勞した点と工夫した点

■苦勞した点

輸出向け発酵は、質を確保するために非常に手間がかかり、現時点で対応できる人数は限られる。

■工夫した点

地域ごとにリーダーを選び、集中的に研修を行った。将来的には彼らが地域の指導者となる予定。また、より多くの農家が参加しやすい地元マーケットを創出予定。

課題

森の番人である農民の現金収入を求めた都市への流出が森林破壊を誘因する。また、気候変動の影響とみられる水害や干ばつの多発化は、農民の状況をさらに厳しくしている。

目標

- アグロフォレストリーで栽培されたカカオが高付加価値作物となる
- 気候変動適応能力が向上する

活動内容と成果

- カカオ発酵の専門家を招聘し、マナウスのチョコレート工房関係者と共に集中的な加工研修を行った。また、高品質カカオを日本のカカオ卸業者530kg、マナウスのチョコレート工房に550kg販売し、非常に好評を得て、農家の顔がパッケージに載ったチョコレートが販売されるようになった
- アグロフォレストリーの第一人者である小長野氏を招き、気候変動適応に不可欠な高台農業技術についての研修を行った。また、3台の簡易灌漑設備は大きな有効性を示した



農家に泊まり込んでの、実践型研修



農家の顔がパッケージに載ったチョコレート

全助成期間の活動を振り返って

試験的な活動も多かったが、多くで成果を確認することができ、基礎の仕組みを作ることができた。カカオの高付加価値化については、直接収入向上につながっている農家の数はまだ少ないものの、関係者や農家達が世界的にみたアマゾンの価値、かつそれを守る環境保全型農作物が持つ付加価値や可能性を知ることにも価値があった。灌漑設備や高台農業技術も、当該地域の農家にとって今後の死活問題であり、至要たる取組みであった。

| 活動地域 | **ブラジル**

〒103-0004
東京都中央区東日本橋2丁目28番4号
日本橋CETビル2階
<https://www.facebook.com/curuminjapan>



今後の
展望

カカオに関しては、生産技術の向上に加えてブラジルや日本の民間企業との協働が始まったことで、生産・流通の体制が整った。今後はより多様な方法で持続可能なビジネスモデルの発展に取り組む。また、気候変動適応能力向上のニーズは年々高まっており、本事業での学びを面的に普及していけるよう、市の農業局の自立発展性を育てながら、引き続き取り組む。